

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2017/8/19 実施)～

参加人数: 4名

緑のエネルギーが全開

あたり一面緑のエネルギー、明け方の大雨のせいか湿気もムンムン。空は曇っているから良いようなものの、これで太陽が照りだしたら、もうお手上げになりそうな空気の朝。

アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシとセミの合唱が賑やかなせいか、鳥の声はちっとも聞こえない。

ジャヤナギの下ではアメリカセンダングサ、ワルナスビなどに交じってアオミズが背丈をのぼしている。マコモのオバナとメバナをくらべて観察。触ると雄小穂からは花粉がとぶ。雌小穂の白い羽毛状の柱頭は美しい。マコモは今最盛期といった感じ。ジュズダマも実を結んでいる。そして実の先に雄の小穂が垂れ下がっているのがみられた。



キレハノブドウ。花にはマメコガネが。



カラスウリの蕾

ソクズ、ヤブミョウガと見ていくと、湿地の際にノブドウが見られ、実生のアカメガシワにからみついている。葉の切れ込みは深くキレハノブドウか。ヨウシュヤマゴボウも実をつけたばかりでその姿はまだまだやさしく感じられた。カラスウリの葉の様子も緑が濃くて良い。「蕾の姿がいいなあ」とつぶやく人も。昼間なので、レースを広げた美しい姿を見ることはできない。この蕾は今晚デビューするのだろうか。

イノコズチの茂み中にセミの抜け殻がたくさん残っているのも併せて、夜の景色をそっと思い浮かべてみよう。

稲が穂を出し、水面をアオウキクサが覆っている。畦にはアゼガヤツリ、イボクサ、ヒメジソなど。ヒメサルダヒコもひっそりと。

シロバナサクラタデの茂みにツルマメが絡みついている葉の上にオジロアシナガゾウムシが見つかった。長い鼻と白黒模様が特徴的。他にコブナグサ、ホタルイ、タコノアシ、マツカサススキ、ケイヌビエ、ヘラオモダカ、ミゾソバ、セリなど。ベッコウハゴロモやアオバハゴロモの成虫も茎に留まっている。先月の幼虫が大人になったのかな。



オジロアシナガゾウムシ

草むらは、咲きはじめてカントウヨメナ、ピンク色が美しいコヒルガオ、カヤツリグサ、ツユクサ。オオイヌタデの花は白が多いが少し赤みをおびたものもあった。オンブバッタ、ショウリョウバッタ、ツチイナゴも見られる。カマキリは樹上にいるハラビロカマキリをいくつか見たが、なぜか草原性のオオカマキリらしきものも今日は木の枝にとどまっている。



タコノアシ



ツルマメ

アゲハチョウ、アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ、ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモン、木陰にはサトキマダラヒカゲなどを見る。賑やかな声のウシガエルは水の中をス〜イと泳いでいた。意外にスピードがあり、あっという間に姿をけした。

上の広場では、トキワハゼに交じってウリクサが花をつけていた。小さくて目立たない草だが、蒸し暑さの中で一時の清涼を感じさせてくれた。

夏はなんといってもトンボでしょう。シオカラやオオシオカラがスイスイ。先月より数は減ったがハグロトンボ、真っ赤の衣装のショウジョウトンボ、ノシメトンボ、そしてワオ〜、ギンヤンマ、オニヤンマも飛んでいた。草むらにはお尻がブルーのイトトンボも、アオモンイトトンボか。



ウリクサ

9月の湿地の観察会は、、、

9月9日（土）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。